

桂台1丁目・松風台・ कोरोレにお住まいの皆さま

地域防災拠点における
安否確認・被災情報収集システムのテスト運用に関するお願い

桂小防災拠点運営委員会
会長 小竹 浩之

秋冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

南関東大震災に代表される大震災発生の危険性が高まっています。30年以内に70%の確率で発生するとの報告もあり、近い将来、必ず起こるとの想定で備えをしておかなければなりません。

大震災が発生した際に、被害を最小限に食い止め、かけがえのない命を守るためには、まず、発災初期の段階での地域の助け合いが何よりも重要であることが指摘されております。例えば、この青葉区には救急車は3台しかありません。台数はともかく、大地震発生時に、けが人の搬送のために救急車が駆けつけること期待できないとの前提で対応を考えなければなりません。

省みますに、はたして私どもの暮らす地域の備えは万全か、桂小学校を地域防災拠点とする桂台1丁目・松風台・ कोरोレ地域におきましても、緊急時に備えた、地域で助け合う仕組み、ネットワークの構築を進めるべきとの結論に達しました。

そこで、来る11月18日(日)に実施します防災訓練に向けて、新しい取り組みとして、最新の安否確認・被災情報収集システムのテスト運用を実施したく、皆さまのご協力をお願いするしだいです。

本システムは、従来、避難者カードによっていた地域防災拠点での地域住民の安否確認作業を、事前に登録する地図情報および住民の皆さまのデータに基づきバーコードを使って行うことにより、避難された方の安否確認はもとより、刻一刻変化する地域の被災状況のスピーディかつ的確な把握を可能にするシステムです。

私どもの暮らす地域が、災害に強い安全・安心の街になるよう準備を進めてまいります。一人でも多くの方にご参加ご協力いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

2007年10月吉日

1. 安否確認・被災情報収集システムについて

- (1) 国の研究機関であります防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センターの研究チームにより、阪神淡路大震災などの経験を踏まえ開発されたシステムです。当研究チームの協力によりテスト運用を実施します。
- (2) ノート型コンピューターに地域の地図情報、住民の方々の基本情報を事前に登録しておきます。事前配布するバーコードつき防災カードを使って避難時の受付作業を行います。(詳しくは「システム運用の概要」を参照ください)

2. システム導入の目的と期待効果

災害に強い街づくりのゴールは、助け合いの心の通う地域コミュニティ作りにあると考えます。本システム導入の意義については、以下のようにまとめることができます。

- (1) 本システムを活用することにより、災害発生初期の地域の被害状況の把握、避難できていない方々の把握を地図上で行うことができます。このデータを使うことで、どこへ、誰を助けに行けばよいかを把握することができるようになり、効果的に地域での助け合い、被災者の救助が行えるようになります。
- (2) 従来の避難者カードを使ってデータを収集する方法では、短時間でのデータ処理は困難です。本システムでは、バーコードを介することで、短時間（最短では3秒/人）かつ、正確なデータ収集が可能となり、地域や防災拠点の状況の的確な把握が可能となります。
- (3) 本システムに登録する情報項目および情報活用方法を工夫することで、要援護者対策、緊急時の道路状況の把握、平常時のお年寄りの声かけ、地域のコミュニティ作りなど多目的で 사용할ことができます。

3. 地域の皆さまへの依頼内容

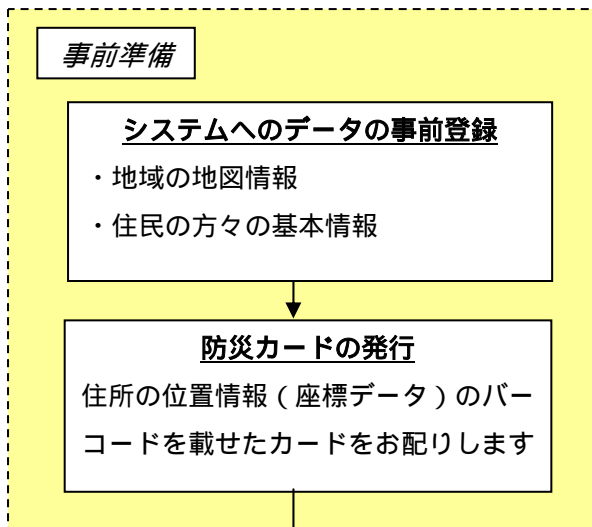
- (1) 本システムのテスト運用にご協力いただける方は、添付の参加申込書に必要事項をご記入の上、申し込みをお願いします。(締め切り：2007年11月5日)
- (2) 11月18日(日)の桂小で行われる防災訓練に事前にお配りする防災カードを持参の上、参加してください。

個人情報の取り扱いについて

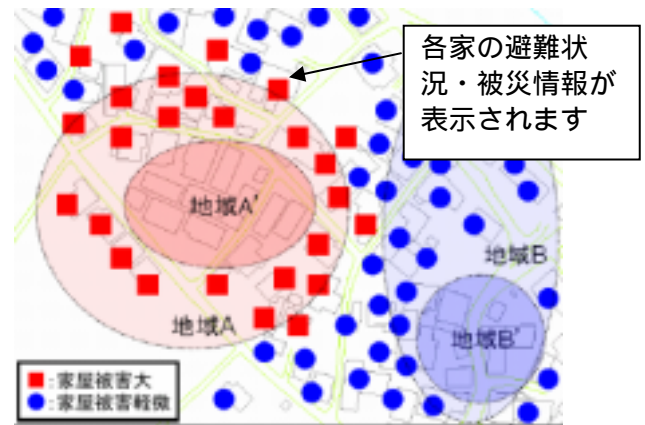
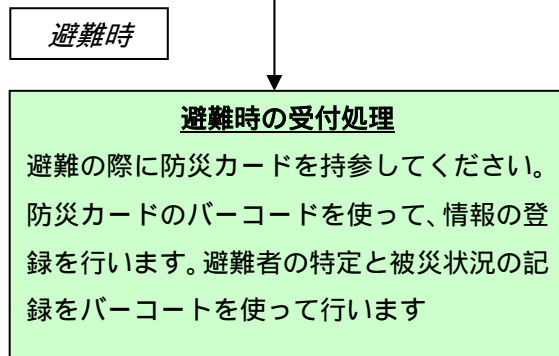
- いただきました個人情報については本システム導入のためのテスト運用、今後の研究開発作業以外には一切使用いたしません。個人情報として、本システム外に頂いた個人情報がもれることはありません。
- 使用するPCについては、パスワードによる管理を徹底し、データの外部への流出事故のないように取扱います。
- 発行いたします防災カードには、世帯主名と住所の座標データである数値情報のみが入ります。カードの紛失等により外部に漏れても住所が特定されることはありません。

災害に強い街づくり、地域づくりを目標として進めてまいります。ご趣旨をご理解いただき、一人でも多くの方のご参加をお願いいたします。

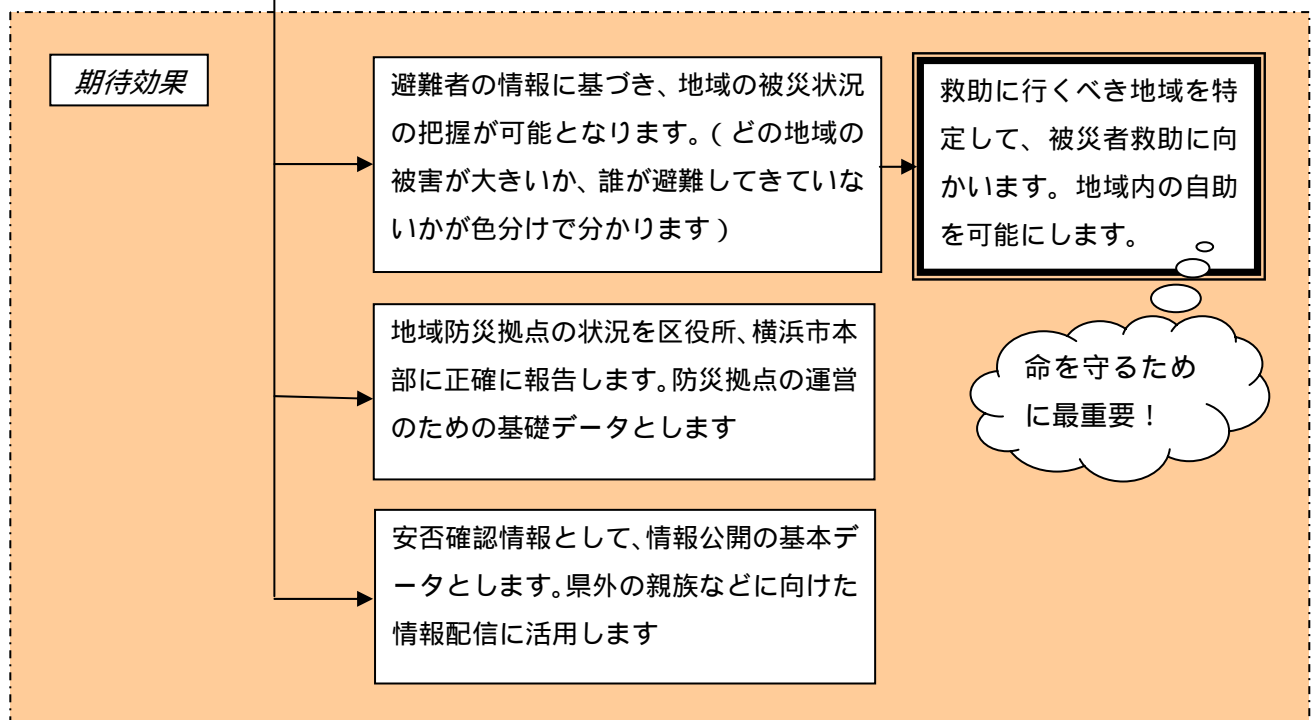
システム運用の概要



バーコードを使って避難者の情報を登録します



地域の被災状況、避難者状況が地図上で把握できます



防災カードのイメージ(案)

表

桂台・松風台防災カード

あなたの避難拠点は **桂小学校** です。

避難の際には、このカードをお持ちください。玄関など持ち出しやすいところに保管しましょう。
身の回りの安全が確保できたら、避難拠点に行きましょう。地域の情報を収集・発信しています。

裏

お名前： 山田

血液型：

各自が記入する



防災・減災のためのワンポイント

まずは落ち着いて身の回りの安全を確保してください。地域の皆さまとの協力・助け合いが何より大切です。助けが必要な方がいたら手を貸してあげてください。

安否確認・被災情報収集システムのテスト運用への参加申込書

日付：2007年 月 日

氏名（世帯主）【必須】			
住所【必須】	横浜市青葉区		
同居家族数 （世帯主を含む）	人	要援護者の 有無	有 ・ 無

要援護者：ご高齢の方、お体が不自由な方など一人では避難が難しい方

注意事項

1. 氏名（世帯主）、住所は必須、同居家族数、要援護者の有無は任意とします。
2. 本申込書の提出により、個人情報の本システムのテスト運営への使用を承認したものとします。

桂小防災拠点運営委員会

安否確認・被災情報収集システムのテスト運用への参加申込書

日付：2007年 月 日

氏名（世帯主）【必須】			
住所【必須】	横浜市青葉区		
同居家族数 （世帯主を含む）	人	要援護者の 有無	有 ・ 無

要援護者：ご高齢の方、お体が不自由な方など一人では避難が難しい方

注意事項

3. 氏名（世帯主）、住所は必須、同居家族数、要援護者の有無は任意とします。
4. 本申込書の提出により、個人情報の本システムのテスト運営への使用を承認したものとします。

桂小防災拠点運営委員会